

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画道路3・5・23号江戸川台駒木線道路改良事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	04	05	02	54
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課					
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	小野 満寿夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・道路利用者	意図	市民や利用者の安全及び利便性の向上を図る。
事業内容	おおたかの森駅周辺の区画整理区域間を結ぶ路線であり、地域住民の安全性と利便性の向上を図るために、道路新設整備を実施する。延長L=50m。			
事業開始から現在までの状況変化	本路線は、新市街地地区の区画整理地区外箇所であり、接続箇所の整備を行うことにより、地域住民の利便性の向上が図られる。延長50m、幅員16mについて平成29年度から事業化し、測量委託及び道路詳細設計委託を行い、平成30年度は不動産鑑定及び物件調査を実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	整備率		6.80	9	%	↑↑↑
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 関係地権者2名に対し、用地取得交渉に着手した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			7,578,800	4,670,320				
事業費(b)(円)			4,222,800	1,374,320				
うち一般財源			372,800	888,320				
職員給与費(c)(円)			3,356,000	3,296,000				
人役・職員(人)			0.50	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	平成29年度の委託業務による線形の決定を踏まえ、用地取得交渉に着手する。	③取組における課題(Check)	国庫補助金を含めた予算の確保が課題である。
②H30に実施した取組(Do)	用地取得交渉に着手した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	国庫補助金を積極的に要望する。令和元年度は、要望に対する内示額が少なかったため、追加補正がある場合は要望していく。